

令和5年度未来を創る学力向上支援事業に係る「第2回小学校英語専科教員協議会」(概要)

1. 目的

小学校英語専科教員を対象に、言語活動の充実に向けた授業改善や、学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりに関する説明・協議等を行うことにより、指導力向上に資する。

2. 主催 大分県教育委員会

3. 日時 令和6年1月23日(火)13:30~16:10

4. 場所 大分県教育センター

5. 内容

(1)大分県教育委員会あいさつ <義務教育課 課長補佐兼指導主事 桐野 潤>

- ・令和5年度英語教育実施状況調査から英語による授業の実施や、言語活動が充実していることがわかる。
- ・課題は小中連携。解決策として授業改善を推進し、小学校外国語で目指す資質・能力を確実に身に付けさせ、中学校に進学させること。



(2)情報交換 「英語力育成シートに基づく今年度の取組」

〈進 行〉 大分県教育庁義務教育課 指導主事 田代 和馬

交流内容より

- ・知識・技能を身に付けることができていると感じる1割の児童にもフォーカスし、手立てを講じることが大切。
- ・第5・6学年の段階で英語嫌いの児童が出てきている。恥ずかしくて言いたいことを表現しづらい年齢なのかもしれない。
- ・「書く活動」において、難しいであろうと考える教師の心配に反して、意欲的に取り組む児童の姿を発見できた。
- ・「読むこと」では、小学校、中学校で子どもたちに求められる能力が違う。学習指導要領の目標を確認すること。

(3)行政説明・授業動画視聴 「大分県の英語教育の現状と言語活動の充実に向けた授業改善」

〈説明者〉 大分県教育庁義務教育課 指導主事 田代 和馬



①大分県の英語教育の現状

- ・英語教育における小中の連携した取組を行っている学校の割合は全国値より低い。
- ・小中連携したカリキュラムや学習到達目標などの設定については、小学校が中学校の実態を把握することで、第6学年の指導が変わる。

②令和5年度全国学力・学習状況調査 生徒質問紙集計結果

・「がんばりたいのに分からない」という生徒の実態が見える。生涯に渡る様々な場面での英語の必要性を想定し、生徒の将来を見据えた上で、確かな英語力を育成することが大切である。

③言語活動

- ・言語活動を通じた資質・能力の確実な育成に向けた授業改善を推進すること。
- ・学習指導要領解説「外国語活動・外国語の言語活動の例」の学校段階別一覧表(p.171)を活用すること。

④「読むこと」「書くこと」における指導と評価について

- ・学習指導要領「読むこと」「書くこと」において、小学校外国語に求められていることを確認すること。
- ・評価事例 「書くこと」では、正確さと内容の両面から評価する
「読むこと」では、理解したことを表出させて評価する

⑤授業動画視聴 大分市立豊府小学校 森山 智峻 教諭

※令和5年度九州地区英語教育研究大会大分大会における公開授業

(4)協議「言語活動を通して資質・能力を育む小学校外国語の授業改善」

〈進行〉大分県教育庁義務教育課 指導主事 田代 和馬

- ・授業の中で、教師が教える場面と児童に気付かせる場面が必要。
- ・児童が言いたいことを教師が引き出す工夫が必要。
- ・言語面・内容面の両面から指導すること。
- ・言語活動は手立てであり、ゴールではない。デジタル教科書を活用し、確かな資質・能力を育成すること。

